

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健・体育 (3年)	
科目基礎情報							
科目番号	0006		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義・実技		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	特になし。						
担当教員	三原 大介,長田 朋樹						
到達目標							
1.サッカーの正しいドリブル、パス、シュートが出来、ルール・審判法を理解しゲームが出来る。2. 卓球のラケットの正しい持ち方、サービスとレシーブが出来、ルール・審判法を理解し、ダブルス・シングルスゲームが出来る。3. 水泳のクロール、平泳ぎ、背泳いで2 5 mを泳ぐことが出来る。 【後期】 1. テニスの基本技術（グリップの握り方、ストロークの仕方、トスサービス、レシーブなど）を身につけ連続ラリーを続けることができる。 2. テニスのルールやマナーに基づきゲームを進行することができる。 3. バスケットボールの個人的技能（レイアップシュート）を実践することができる。 4. バスケットボールの集団的技能による攻撃と守備のバランスを考慮して実践することが出来る。 5. 長距離走の走り方を身につけ 2000m 走を走ることができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
テニスの基本技術【後期】		ラリーを10回以上継続できる		ラリーを10回継続できる		ラリーができない	
バスケットボールの集団的技能【後期】		3対3でのゲームを攻守にわたり実施できる		3対3でのゲームを実施できる		3対3のゲームで動くことができない	
長距離走【後期】		2000mを目標タイム以上に走れる		2000mを走れる		2000mを走ることができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要		1.サッカーの基本技術を学び、ルール・審判法を理解しゲームが出来る。 2. 卓球の基本技術を学び、ルール・審判法を理解し、ゲームが出来る。 3. 水泳のクロール、平泳ぎ、背泳ぎの各泳法で2 5 mを泳ぐことが出来る。以上を目指す。					
授業の進め方・方法		授業方法は実技を中心に行う。 【後期】 1-5. 練習およびゲーム・記録測定時のプレー内容・競技記録・スキルチェックから総合的に判断し評価する。 2,4. 授業時間中に記録するゲーム記録表または個人ワークシートの内容から総合的に評価する。 5. 定期試験およびレポート課題から総合的に評価する					
注意点		学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のラケットを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻3回は、授業1回の欠席にする。夏期水泳の時には水着、水泳帽、バスタオル、ゴーグルなどを用意すること。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。 【後期】 ○保健体育は出席することが前提条件である（オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については追加課題を与えるか、評価の対象としない場合がある） 1. 第 1 回目と学年末テスト直前の授業は講義を行う。 2. 実技では、学校指定のジャージ、Tシャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること、それ以外は一切認めない。 3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。 4. 週番は、授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること。また、クラスへの伝達、出席簿を持参すること。 5. 天候や進捗状況により授業内容を入れ替えるなど一部変更することがある。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	サッカー 準備体操、用具、服装、授業内容、評価等についての説明、ドリブル、パスの練習、整備体操			ドリブル、パスが出来る。	
		2週	準備体操、ドリブル、パス、シュート練習、整備体操			ドリブル、パス、シュートが出来る。	
		3週	準備体操、ドリブルコントロール技術、シュート、整備体操			ドリブルコントロールが出来、シュート打てる。	
		4週	準備体操、ルール、審判の仕方の説明、ゲーム、整備体操			審判法を学び、ゲームが出来る。	
		5週	準備体操、スピードアップ技術の説明、ゲーム、整備体操			よりスピードアップしたゲームが出来る。	
		6週	準備体操、基本技術の確認、整備体操			基本技術(ドリブル、パス、シュート)が出来る。	
		7週	前期中間試験 (新体力テスト)			現在の自己の体力を理解する。	
		8週	水泳 注意事項、準備体操、(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ各25m以上)、整備体操			クロール・平泳ぎ・背泳ぎ各泳法で25m以上泳ぐことが出来る。	
	2ndQ	9週	卓球 準備体操、ラケットの持ち方、基本ストローク(フォアハンド、バックハンド)、ラリー練習、整備体操			フォアハンド、バックハンドで打つことが出来、来、ラリーを続けることが出来る。	
		10週	準備体操、技術に応じて4つのグループに分ける。フットワーク、サービスとレシーブ、ラリー練習、整備体操			フットワーク、サービスとレシーブが出来る。	
		11週	準備体操、回転ボールへの対応(ツッツキ、ドライブ)、サービスとレシーブ、ラリー練習、整備体操			ツッツキ、ドライブが出来る。	
		12週	準備体操、ルール、審判の仕方説明、グループ別ダブルスゲーム、整備体操			スマッシュを打つことができる。	
		13週	準備体操、ルール、審判の仕方説明、グループ別ダブルスゲーム、整備体操			ルール、審判法を学び、ダブルスゲームが出来る。	
		14週	準備体操、ルールの確認、グループ別シングルゲーム、整備体操			シングルゲームが出来る。	

後期		15週	準備体操、ルールの確認、グループ別シングルゲーム、整備体操準備体操、基本技術の確認、整備体操 * 雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。	基本ストローク(フォアハンド、バックハンド)が出来、ラリーを続けることが出来る。
		16週		
	3rdQ	1週	オリエンテーション, 講義 (オリンピック, スポーツ科学)	
		2週	軟式テニス (グリップの握り方, 用具に慣れる, フォアハンドストローク)	
		3週	軟式テニス (ラリー, サービス, レシーブ, ミニゲーム)	
		4週	軟式テニス (ラリー, サービス, レシーブ, ミニゲーム)	
		5週	軟式テニス (ラリー, サービス, レシーブ, ミニゲーム)	
		6週	軟式テニス (ラリー, サービス, レシーブ, ミニゲーム)	
		7週	軟式テニス スキルテスト	
		8週	陸上競技 長距離走, 軟式テニス スキルテスト	
	4thQ	9週	陸上競技 長距離走, バスケットボール	
		10週	バスケットボール (ボール慣らし, ドリブルレイアップシュートの練習)	
		11週	バスケットボール (フリースロー, ドリブルレイアップシュートの練習)	
		12週	バスケットボール (フリースロー, 3 対 3 でのミニゲーム, ゲーム)	
		13週	バスケットボール (フリースロー, 3 対 3 でのミニゲーム, ゲーム)	
		14週	バスケットボール スキルテスト	
		15週	講義 (スポーツ科学)	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	40	0	0	10	0	50	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	40	0	0	10	0	50	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	